



平成27年にごみの分別区分が大きく変更され、6年が経過しました。その後、市民の皆さまの「ごみ排出量」はどのように推移しているのでしょうか。1人が1日に排出する量で、これまでの実績を振り返ってみます。

分別区分って、どう変わったんだっけ？

新しいごみ処理施設「いわみざわ環境クリーンプラザ いわ☆ぴか」の整備に合わせて分別区分を変更し、[紙類]と[危険ごみ]は、資源ごみになりました。

リサイクル可能な資源物を分別して収集し、ごみ量の削減を図っています。



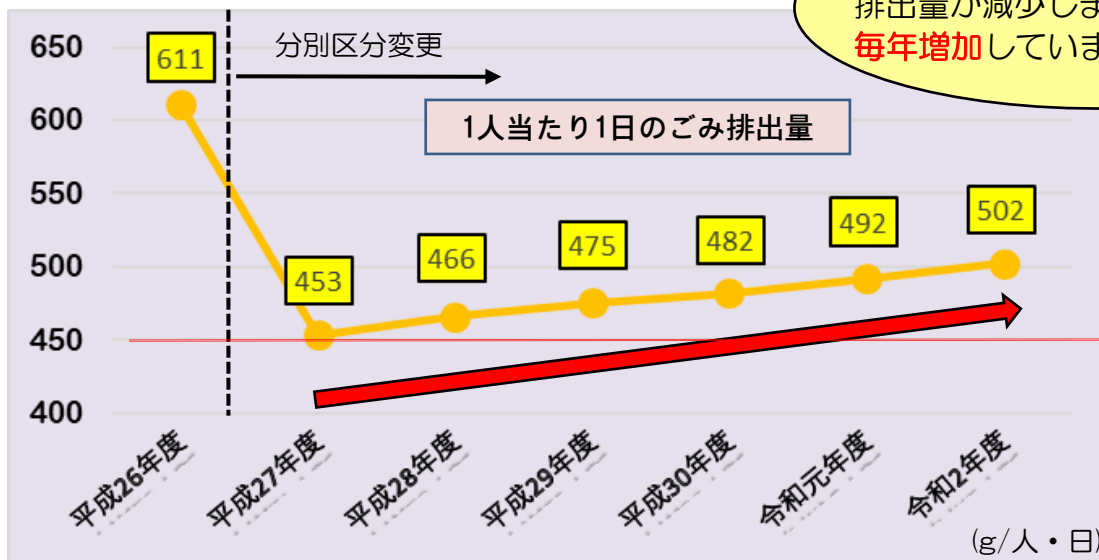
燃やせるごみ

燃やせないごみ

資源ごみ

変更前の分別区分 (平成26年12月まで)	変更後の分別区分 (平成27年1月から)
紙類 (段ボール・紙パック等)	資源ごみへ分別区分変更
紙くず、木くず、布くず、糸くず	紙くず、木くず、布くず、糸くず
燃やせないごみから 分別区分変更	生ごみ
危険ごみ (蛍光管、体温計等)	資源ごみへ分別区分変更
生ごみ	燃やせるごみへ 分別区分変更
プラスチック製品 (容器包装以外)	プラスチック製品 (容器包装以外)
衣類、皮革製品、紙おむつ	衣類、皮革製品、紙おむつ
陶磁器、ガラス類、金属類	陶磁器、ガラス類、金属類
びん・缶・ペットボトル	びん・缶・ペットボトル
プラスチック製容器包装	プラスチック製容器包装
燃やせるごみから分別区分変更	紙類 (段ボール・紙パック等)
燃やせないごみから分別区分変更	危険ごみ (蛍光管、体温計等)

家庭からの「ごみ排出量」は右肩上がり!



分別区分の変更直後は、ごみの排出量が減少しましたが、その後は毎年増加していますね。



令和8年度における岩見沢市の目標値は450gですので、現状とは約50gの差があります。

50gってどれくらい?



なんでごみを減らさないといけないの？

たとえば・・・

① もったいない を減らす

どんな資源にも限りがあり、いつか必ず底をつきます。まずはごみを出さないことを意識し、使えなくなった物・不要となった物は、可能な限りリサイクル・リユースしましょう。



■ リサイクルショップを利用する

まだ使えるかも・・・そう思ったらまずは確認を！
リサイクルショップで引き取ってもらえたら、ごみ処理料金はかからないし、リサイクルにも貢献できます！



■ 調理くず・食べ残しを少なく！

燃やせるごみのうち約6割は生ごみです。
調理の際に皮をむきすぎたり、ごはんを残したりしていませんか？
食べられる物は、最後までおいしくいただきます！



② ごみ処理には お金がかかる

家庭から出るごみは最終的には埋め立てられますが、それまでにはたくさんの経費がかかっています。ごみ量を減らすことで、お金を節約しましょう！



ところで、どんな経費がかかっているんだろう？

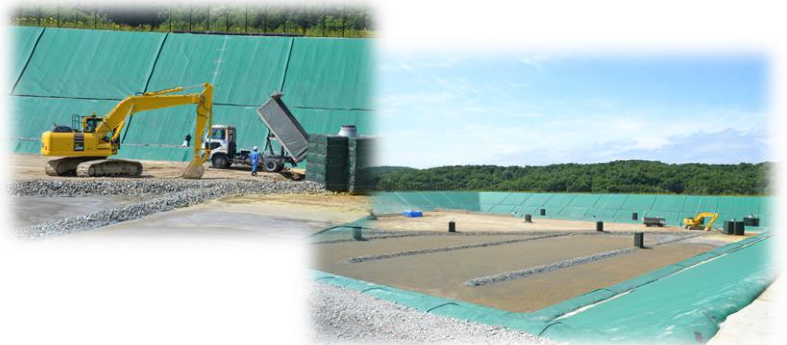
■ 収集運搬(運ぶお金)

ごみステーションから収集し、処理施設「いわみざわ環境クリーンプラザ いわ☆ぴか」まで運搬するために、職員の人件費、車両費、燃料費などがかかっています。



■ 中間処理(処理するお金)

中間処理施設では、搬入されたごみの分別・選別を行い、できる限りのリサイクルをした後に焼却処理を行っています。職員の人件費、機械の修理代、水道代などがかかっています。



■ 最終処分(埋め立てるお金)

中間処理のあと、最終的には埋立しなければならぬものも出てきます。

最終処分場(埋立地)がいっぱいになると、土地を確保して、新しい埋立地を作らなければなりません。